

県広報

とよま



特集 / いつでも どこでも だれでも 生涯学習

7
1993 No.294

県青年・婦人の船を通じてロシア沿海地方の皆さんと国際交流の輪を広げました。(5月21日、富山新港にて)

「おばあちゃんになっても 夢を追い続けます」

ひとアスとやま
INTERVIEW
SHIGERU MUROI



▶地元でのトークショー

女優 室井 滋さん



「魚津高校時代から、女優に憧れていました。卒業生を送る会で現代風にアレンジした『ああ野麦峠』を自分の脚本、主演で演じたんですが、結構評判がよくて、ああこれはもうこの道しかないなあ。思い込みが激しいタイプなんでしょうね。」といたずらっぽく笑う、滑川市出身の室井滋さん。存在感のある女優としてこれまで数々のテレビ、映画等に出演し、「やっばり猫が好き」のレイ子役ではアドリブ

を交えた自然体の演技で人気を博しました。現在は、日本テレビ系「はだかの刑事」をはじめ、NHK「ええにょほ」のナレーションなどで多忙な日々を送っています。

「普段は、富山県人らしく地味なんです。でも一方で派手にめだちたいという気持ちもあって、それぞれの面がいい意味で私の仕事に活かされているんじゃないでしょうか。東京の大学に在籍しながら、学生演劇や自主映画に出演したのがきっかけとなり芸能界デビューを果たしたという室井さんは、明るくおきやんな二枚目半を演じながらも、どこか人間の内面に流れるペーソスを感じる人に感じさせてくれます。本業以外でも暇をみつけては、書き溜めたというエッセイ集「むかつくぜ」や、「キトキトの魚」がベストセラーになりました。子供の頃からのエピソードが富山弁を交えながらコミカルにほのぼのと描かれています。「家族が亡くなり生家にはもうだれも住んでいませんが、今でも雪おろしやお墓のことが心配で富山にはよく帰っています。キトキトという方言なども好きで自然と出てきますし、やはり私の隣にはいつも富山があるんだなあと感じますね。」

話せば話すほど飾らない気さくな人柄がにじみ出る室井さん。役づくりのうえで、台本をもらったときの第一印象と次第に膨らんでくるイメージ、そして共演の方とのコンビネーションの三つのアンサンブルを大切にしています。「今はうまく表現できないことも十年先、二十年先になって見つかるとも知れない。そんな夢を抱きながらおばあちゃんになってもこの仕事を続けていきたいですね。子供のよくな純粋な目を輝かせるその表情に、また一つ魅力を見つけました。」

〈望ましくない絵〉

概念画パターン化された表現



6才 女

近頃は、お洒落上手で会話がうまく、教養があつてハツラツとしたお母様方が増えてきました。そして又、おばあちゃん方の若い事、お母さまかな？と首をかしげるほどで、うれしい限りです。心のゆとりとセンスのいい家庭に育つ子は色彩感覚がいいから……

しかし、しかしです。何事も「過ぎたるは及ばざるが如し」で、ステキなお母様方の中にも極端なタイプがあります。

- 1、教え過ぎ教育ママ
- 2、口出し評論家ママ
- 3、庇い過ぎ過保護ママ
- 4、打算計算ママ
- 5、自由放任ママ

こうしたタイプがその子の絵に与える影響は驚くほどはつきりしていて、一本の線の強弱にも、その子の気持ちがあみこれるのです。

「教え過ぎ教育ママ」や「口出し評論

家ママ」等の場合、子供は賢く慎重で几帳面、物事をよく知っていますが、さて画用紙に向うとなかなか描き出さない、常に何か指示がないかと待つ姿勢。主体性、自発性がない。頭の中は概念ばかりで実体がないから、描く絵も正常な発達段階を無視した概念画、家は三角屋根に四角い箱、人の顔はまるの中に目鼻口といったパターン化された模倣。こうした子供は、実生活の上で問題が起きた場合、臨機応変の処置がとれないから心配です。

一方、「自由放任ママ」の場合、子供は元気で面白くて、のびのびしています。が、描く絵は粗雑で持続性がなく、人を傷つけても平気でいる荒つぽさがそのまま絵に現れています。注意力や思いやりの心は日常生活の中で身につくものです。

「自由」とは「すぐ勝手にわがままに」という事ではないのです。本当の意味での自由でのびのびした絵を描くためには、

- ①日常生活の中での観察や感動という体験の裏付けが必要。
- ②いつでも描けるよう、用具、材料を手近な場所に置いておく。
- ③子供の個性と持ち味を尊重し、そこねないように、適切で多過ぎないアドバース。
- ④励ましとほめ言葉。の四点が大切です。

要注意事項として、

- ①批判しない
- ②比較しない
- ③描いてくれと言ってもパターンを教えない（模倣人間になるから）

旺盛な知的好奇心と、最も感受性豊かな幼・少年時代に、「自分の経験と観察と感動」を「自分の力で表現できる子」と強く願っています。

絵の描ける子、 描けない子

大谷こども美術館館長 大谷和子

〈望ましい絵〉



1才10ヶ月 男



3才6ヶ月 男



ウラジオストクに5月の富山を再現

沿海地方友好提携1周年記念事業トヤマデー開催

昨年八月に友好提携を締結した富山県とロシア連邦沿海地方。その一周年を記念して、富山についての理解を一層深めてもらおうと五月十九日、ウラジオストク市内でトヤマデーが開催されました。鯉のぼりが空高く舞うなか、スポーツハーバーで行われたオープニングセレモニーでは、中沖、クズネットフ両知事による開会あいさつの後、現地を訪問中の県青年・婦人の船の団員が福光もちつき太鼓をはじめ、獅子舞、麦屋節など富山県の郷土芸能・祭りを熱演。沿海地方からもロシア舞踊団による民族舞踊が披露され会場の雰囲気盛り上げました。また異花チューリップの切り花五千本に彩られた広場において、大茶道大会やたこあげ、コマ回し、竹トンボなどが実演されると、訪れた約千五百人の市民は、「ザミチャーチェリナ(すばらしい)」「オーチン インテレスナ(とてもおもしろい)」などの歓声をあげ、日本の伝統文化や遊びに興味深く見入っていました。

午後からは、富山の友好の船の団員と地元青年婦人がスポーツ交歓会で汗を流しながら楽しいひとときを過ごし、友好の輪を一層広げていました。



「看護の日」ふれあいトーク

演「唐尿病をプラスに考えて生きて」
患者の立場から「この病との共生を語る」
アミ、スタッフライター 鴨志田 恵一氏



みんなで考えよう
「看護 家族の人とのかかわり方」

ひとりひとりが考えると看護はもっと素晴らしいくなる

「看護の日」ふれあいトーク

「ひとりひとりが考えると看護はもっと素晴らしいくなる」をテーマに、「看護の日」ふれあいトークが五月九日、安田生命富山駅前ビルで開催されました。これからの高齢化社会にそなえ、看護について一人ひとりの理解を深めるために、十二日の「看護の日」にちなんで行われたものです。

開会あいさつに続き、県立総合衛生学院の皆さんによるテーマソング「みまもる心」の合唱がオープニングを飾った後、記念講演とパネルディスカッションが行われました。

記念講演では、文筆家の鴨志田恵一さんが自らの闘病体験を語り、「糖尿病と付き合い、適正な食事と運動により、以前より自分の能力やキャパシティが広がった」と病をプラスに考えて生きることがを強調。

パネルディスカッションでは「介護は知恵くらべ。お年寄りの自尊心を傷つけないことが大事」、「介護は専門家や行政サービスを利用するなどの意味での手抜きが必要」、「地域にホームヘルパー、ケアワーカー、訪問看護婦などの福祉ネットワークを作っていきたい」などの活発な意見交換がなされ、多くの人々が熱心に聞き入っていました。



▲「みまもる心」の合唱



▲繁殖牛飼養研究会の皆さんとふれあい対話

なごやかに ふれあい対話

知事のまちなわり〈氷見市〉

今年度初めての知事のまちなわりが、五月二十八日、氷見市で行われました。五月晴れの下、午前中は、島尾の市民農園で園芸を楽しむ人々と栽培談義に花を咲かせたり、宮田小学校の児童たちとサツマイモの苗を植えるなど楽しく交流。続いてふれあいの森や氷見漁協の製氷工場の屋上を訪れて、現在進められている事業や計画の説明を受けた後、漁港内の共同集配施設で市議会議員と懇談しました。

午後からは、二か所でふれあい対話に臨んだ後、能越自動車道IC建設予定地や懶ラポージュの先進的な着物縫製の技術を視察しました。特別養護老人ホーム「つまま園」でのふれあい対話では、積極的なボランティア活動を行っているグループの代表者と活動の在り方やボランティア精神の養成などについて活発な話し合いがなされました。また繁殖牛飼養研究会との対話では、和気あいあいとした雰囲気の中で、和牛のブランド化について熱心な意見交換が行われた後、生まれたばかりの子牛に知事の名前をつけるという一幕もありました。



▲市民農園で児童と一緒にサツマイモの苗植え



▲「つまま園」でボランティアグループの皆さんと



▲ふれあいの森にて



▲繁殖和牛とご対面

▲着物縫製の先進的技術を視察

北陸新幹線建設促進富山県民総決起大会

魚津・高岡間の早期着工を

北陸新幹線の一日も早い全線整備を



北陸新幹線の一日も早い全線整備を

北陸新幹線建設促進富山県民総決起大会

現在の整備新幹線建設計画の「見直し」の時期が目前に迫った五月二十七日、「北陸新幹線建設促進富山県民総決起大会」が富山県民会館で開かれ、県内の自治体、経済関係者など約二千五百人が参加しました。

中沖知事は、「魚津・高岡間の取り扱いの明確化を含め北陸新幹線の早期全線整備を実現するうえで、今はまさに正念場を迎えている」と強く訴え、県民に理解と協力を求めました。この後「北陸新幹線全線整備の早期明確化とともに、①魚津・高岡間の速やかな着工と富山駅の整備②新たな建設財源の確保と建設費の地域負担に関する適切な財源措置③並行在来線分離後の経営が成り立つ支援策の具体化」を求める決議を行い、一日も早い全線整備の実現を求める県民の熱意と要望を国に対し強くアピールしました。

また、五月三十一日には、東京で北陸新幹線の沿線の各県知事など関係者約三百人が参加して建設促進総決起大会が開かれ、関係省庁などに対し整備の促進などを陳情しました。





▲石仏を一体一体調査中

ひっそりと佇みながら歴史の移り変わりをじっと見つづけてきた石仏。その姿に惹かれた人々が、昭和五十四年から十三年にわたり小矢部市内の石仏を調査し、その結果を「ふるさとの石仏」「俱利伽羅峠三十三観音めぐり」など十三冊の小冊子にまとめ発行しました。とりあげた石仏の数は、千八百体にも及んでいます。代表の岡田さんは、子供の頃から「石仏は、道ゆく人を見守ってくれているんだよ」と教えられ石仏に興味を持つようになったそうです。「会員の各自が定規、カメラ、ノート、地図を持って、山の中や墓地の草をかき分けて野仏を探し歩いたこと、うまく写真が撮れず何回も撮り直しに行ったこと、路傍の小仏にも先人の思いをひしひしと感じ自然に手を合わせるようになったこと、すべてが懐かしい思い出です。それに調査をするたびに人の温かさが身に染みしましたね。散逸した俱利伽羅峠の三十三観音石仏の発見に協力してくれた石川県津幡町の婦人ボランティアの方々、親切に石仏の由来を教えてくれた地元の方々、丁寧に指導してくれた講師の方々に支えられて完成したこの十三冊の冊子には、慈愛にあふれたやさしい笑顔の石仏とともに岡田さんたちの心の交流も収められています。

石仏から学んだ先人の心

婦人ボランティア文化財愛護コース石仏調査(小矢部市)



▲代表 岡田静子さん

訪れた人々を包み込むふれあいの風

観光ガイドボランティア「あいの風」(高岡市)



▶代表 越野誠子さん

「あゆの風いたく吹くらし奈奥の海人の……」と万葉歌人、大伴家持が詠んだ歌にちなんで名付けられた「あいの風」は、高岡をこよなく愛する人たちが集まってできた県内で最初の観光ガイドボランティアです。「県外の知人に高岡を案内したときに案内自分の街のことを知らなかったことに気付き、主婦十人で勉強会を始めたのがきっかけでした」と代表の越野さん。初めは、案内書を覚えるのに悪戦苦闘の日々だったそうですが、現在では会員も男性を含む三十人となり、古城公園、瑞龍寺、国泰寺などの名所をはじめ昨年からは、万葉歴史館の解説も始めるなど年間七十回以上のガイドをこなすなど活動が充実しました。「たまに頭の中が真っ白になって、解説する内容を忘れることもありですがお客さんがはげましてくれたりして、かえってコミュニケーションが深まるときもあるんです」。のびのびとした雰囲気なかでの勉強会や全国の万葉ゆかりの地を訪ねる県外研修などを重ね、万葉集で詠まれた風景が現在も残されている高岡の良さをわかってもらおうとがんばっています。通り一遍の案内ではなく、郷土の良さには誇りと愛情をもって人々と接する「あいの風」は、今日も高岡にふれあいの風を心地よく吹かせています。



▼高岡御車山祭を案内



特集

いつでもどこでもだれでも 生涯学習

人生八十年といわれる今日、自由時間の増大とともに、より豊かで充実した生涯を送るために自ら進んで学習しようとする機運が高まっています。実際、県内においては、公民館や図書館などを利用して約二千もの生涯学習団体がさまざまな活動を行い、また県政世論調査でも、約六割の方が学習活動に参加経験があり、約八割の方が今後取り組みたいと答えるなど、まさに生涯学習の時代を迎えているといえます。このように学び続ける喜びを人々が求めるようになると、それに伴い学習内容の充実も強く望まれるようになります。こうした状況に因應するため、好奇の心で、いつでも、どこでも、だれでも、学習できるそんな体制づくりをめざし、県民カレッジでは、今年度新たに開設した「映像センター」や「学習サロン」のほか、さまざまな学習機会や学習情報の提供を行い、団体・サークルや個人の多様な自主的な活動を支援しています。

◎生涯学習と一口に言っても、その学習内容は多種多様です。県内では、どのような活動が実際に行われているのでしょうか。いくつかのグループの事例を取りあげて次に紹介します。

六月十日に開設した映像センターは、これまでの視聴覚ライブラリーを大幅に拡充し、「映像でまなぶ」「映像をいかす」「映像をつくる」など映像の時代に対応した新しい学習の場を提供するものです。自分たちの学習を活性化したい、今までと違った方法で自分たちを表現したいといった学ぶ心を応援します。

1

学習に映像を活かします。

「映像センター」オープン

出会う ふれあい まなびあい

前に紹介したグループの皆さんは、それぞれ自分たちの目標に向かって、生涯学習を続けています。生涯学習の明るく楽しいよりどころ、県民カレッジでは、こうした多彩な活動をさらに充実してもらうため、次のような学習サービスを提供しています。

(1)まなぶ

80人収容可能なハイビジョン学習室(ハイまなびジョン)では、迫力ある110インチハイ

ビジョンの美しい映像を使って視聴覚講座や学校教育、社会教育などの各種研修を楽しくかつわかりやすく行うことができます。ビデオ学習室(ふるさとブース)では、35年からの郷土富山の映像やテレビ講座など、約300本のビデオソフトを8つのブースで自由に鑑賞することができるほか、「富山のくすり」をマルチメディアでも学習できます。



▼郷土教材映画



▲フィルムラック

(2)いかす

サービスカウンターでは、あなたの求める映像教材や施設・機器の活用の相談に応えるとともに16ミリ映画(約1300本)やビデオ(約700本)の貸出をします。



女性の生き方を考えます。

とやまおんなの哲学研究会(富山市)



代表 政二俊子さん▶

▼講義のあとの意見交換



「哲学といっても学問としての哲学を勉強しようというわけではありません。専門職で働いて来た知識を生かして仕事や子育てから解放されたとき一人の主婦としてどんな生き方ができるのかみんなで考えてみようと思ったんです。公務員だった政二さんの呼び掛けで会が発足したのは昭和六十一年のこと。メンバーは中学校の教員、看護婦、保健婦、税理士など専門職として働いてきた人たちを中心に四十名です。魚の形をした「女性の生き方をかんがえる設計図」を作成し「人生八十年を考える」を背骨に、自立・教育・歴史・社会・国際化・高齢化を六つの枝骨にして月一回の研究会で講義や討議による学習を行っています。この会の大きなメリットは、資格や特技を持つ会員がいつでも講師に早変わりできること。外国人を招いての国際交流や他の研究会との交流セミナーも、会員それぞれに良い刺激となっています。「二人で勉強するより大勢でのグループが一番。だから一方的に聞く学習だけでなく講義のあとの意見交換にウェイトを置くようになっています」。三十歳から七十歳代までの各年代それぞれの意見を尊重しながら連帯感を深め、女性の生き方を高めていきたいと願う政二さんたち。これからの目標は、会員それぞれの生きてきた証である自分史を編集し、小冊子として残すことです。

緑の下の力持ち

入善町婦人ボランティア連絡協議会



代表 柳原藤佐子さん

家から一歩外へ踏み出して何かを始めたい。そんな思いを持つ人々が、婦人ボランティア養成講座で知り合い、結成したこの会は、忙しい主婦業の合間にボランティアの輪を広げています。これまで、国指定文化財の沢杉林の下草刈りをはじめ、町内の一人暮らしの老人を手作りのおはぎや料理でもてなしたり、子供たちの豊かな人間性を育てようと家庭教育カルタを作って、学校、公民館、図書館へ配布するなど、まさに地域に根ざした地道な活動を行ってきました。そんな姿に賛同して、会員も徐々に増えて現在は九十名。「二つ二つの小さな活動をとおして、町のことがよくわかるようになったとか、相手の立場にたつて物事を考えられるようになったという声をよく耳にします」と柳原さん。月に一度の学習会では、慰問品をつくりながら、他にできないことはないかと会員同話し合っています。「料理をおいしいおいしいと食べてもらったり手づくりの慰問品に喜んでもらえると、つくづくやっているとよかったですね。仲間と学びあい、実行してきたことが、着実に人々の心にしみわたる。緑の下の力持ちという言葉がピッタリとあてはまるこれらの活動は、これから地域を暖かく包み込んでいくことでしょう。



▲家庭教育カルタ作り

●平成5年度講座の一覧(8月以降)

区分	コース	講座名(講座数)	平成5年度			平成6年度						
			8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
主	一般	創造性開発講座(1)		30・31・2・3日		16・23・30日	福岡・新潟					
		秋季講座(2)										
		高校開放講座(13)		県立高校13校で実施(委託)								
		教養講座(8)		県下4地区で8講座実施(委託)								
		テレビ放送講座(2)			からだのふしぎ(仮題)					とやまの祭り(仮題)		
放	送	ラジオ放送(1)				F.M.とやま「おはようサンデカレッジ」						
		ハイビジョン視聴講座(2)										
		人間探究講座(7)		「ここらの古典」		「くらしの美学」				「生活の医学」		
					「くらしの科学情報」					「ここらの古典」		
専	門	リーダー養成講座(16)		「胎教からお経まで」		「胎教からお経まで」				「胎教からお経まで」		
					「異文化との出会い」							
催	余	ボランティア養成講座(4)										
		余暇文化講座(4)		利賀(1泊2日)		立山(1泊2日)		韓国(3泊4日)				

(県または市町村・高等教育機関等が実施する講座で一定の条件を満たしている講座)

学習活動を お手伝いします。

(1) 各種調査によると生涯学習に取り組む目的の第一は、心の豊かさや人と人とのふれあいを求める仲間づくりにあるとの結果がでています。映像センターと同じ

▼ビデオ編集機器



▲スタジオ ▲調整機器

(3) つくる
映像工房では、映像でグループの活性化を図りたい方のために最新の設備と職員が手作りソフトのお手伝いをします。
スタジオ・調整室では、郷土の映画や映像カット集、マルチメディアを活用したソフト、生涯学習の記録番組などを皆さんと一緒に制作します。

相談にこたえ、 情報提供します。

(1) 県民の皆さんに生涯学習に役立つさまざまな情報を提供するネットワークシステム(とやま学遊ネット)には、講師・指導者、学習機会、イベント、施設、団体・サークル、視聴覚教材、図書の種類、五〇万件の全国一を誇るデータが登録されています。県や市町村の学習提供窓口で置かれた端末機には、タッチパネル方式とパソコン通信方式の二種類があ



▲学習サロン

時に新たに設けられた「学習サロン」では、お茶を飲みながら歓談したり、情報交換ができる交流コーナーをはじめ、創造性開発、余暇・生きがいなど生涯学習に関する図書約一六〇〇冊が閲覧できるコーナー、クラシック、ジャズなど五〇〇枚のCDを用意した音楽鑑賞コーナーなどを設置しています。
(2) 県民が集い、生涯学習への意識の高揚と一層の啓発を図るため、十月に県民カレッジフェスティバルを開催します。

ユニークな 講座があります。

(1) 魅力いっぱい講師をそろえた主催講座には、視野がひろくなる一般コース、テーマを掘り下げて学ぶ専門コース、お茶の間で聞ける放送コースがあります。その他、大学、県機関や地元の市町村で受講できる連携講座を用意しています。
(2) すぐれた講演を本にまとめた「県民カレッジ叢書」を発行しています。



タッチしてみましょう

(2) 生涯学習に関する相談は、県民カレッジのほか、県下三か所の教育事務所(魚津、高岡、砺波)でも受けられます。

り、タッチパネル方式は、画面に触れるだけで詳しい文字情報ときれいなカラー画像をみることができ。また、今年度は全データの更新作業を行い、システム及び学習相談体制をさらに充実します。

リカレント教育を 進めます。

平成三年度に国から「地域リカレント教育推進事業」の委嘱を受けて、リカレント学習を進めています。リカレントは回帰を意味し、リカレント教育とは、学校を修了し、社会で働く人が必要に応じて再び学校で教育を受けられるということです。高等教育機関と企業行政—いわば産・学・官が力を合わせて、ハイテク分野、経済・経営の先端分野、医薬分野などの学習コースを開発し、社会人、企業人向きに専門的で高度な知識・技術のキャッチアップに役立つ学習の場を提供しています。

総合的な研究を 行います。

県民の皆さんの要望に合わせた事業を進めるため、生涯学習に関する意識・実態調査や基礎資料を作成し、事業の充実を図ります。

お問い合わせ、お申し込みは
富山県生涯学習カレッジ
〒930 富山市舟橋北町7-1(県教育文化会館内)
TEL 0764-41-8635(教育文化会館)
0764-41-6135(相談)
0764-32-6420(映像センター)まで

第6回 全国生涯学習フェスティバル

平成6年秋 富山県で開催



デザイン:石ノ森 章太郎
生涯学習のマスコット「マナビィ」

生涯学習に関する情報提供、活動紹介
展示、発表、実演、各種シンポジウム
フォーラム、公演など…
生涯学習の意欲を高め、学習活動
への参加をすすめる全国的な祭典です。

年月はいつしか移り行きて

今宵は七夕まつりの夜

提燈の薄明りに浮かぶ

愛娘の容姿を見るにつけ

短冊に秘めたる願いを託せし

少女の昔が懐しく思はるる



自然観察と森林浴のメッカ

県民公園頼成の森

レポーター…前田美由紀(93牛岳白雪姫)

自然と森林生態の学習の場 森林科学館



▲親鳥舎、ひな鳥舎、巣箱(中央)をイメージした森林科学館

頼成の森の入口広場から木々に囲まれた緩やかな坂を抜けてゆくと木造平屋建の美しい建物、森林科学館が現れてきます。大きく羽を広げた親鳥と巣箱、そしてかわいいひな鳥をイメージして設計された建物は、周囲のやわらかな新緑と見事に調和しています。

館内には五〇名を収容できる研修室と十一の学習体験コーナーがあります。

展示室には地球、富山そして頼成の自然や森林の情報のほか、森の中の野鳥や獣の音が楽しめるオールナイトシアター、森や木にまつわるクイズを楽しめる端末機、園内で見ることのできる動物・植物の写真パネルなどがあり、実際に目で見、耳で聴き、五感を働かせて楽しく学習することができます。



▲展示室(学習体験コーナー)

楽しめるオールナイトシアター、森や木にまつわるクイズを楽しめる端末機、園内で見ることのできる動物・植物の写真パネルなどがあり、実際に目で見、耳で聴き、五感を働かせて楽しく学習することができます。

水や酸素、木材を供給し、暮らして潤いを与え、私たちの暮らしになくてはならない森林のすばらしさを体験学習でき、私も改めて、人間と自然との関わり合いの深さ、また富山の自然の美しさを再認識させられました。



▲学習体験コーナーの1つ「森のオールナイトシアター」

気軽に自然と触れ合える野外活動の場として多くの県民に憩いを提供してきた県民公園頼成の森に、ハナシヨウブを中心とした水生植物園がオープンしました。今回は魅力を増した頼成の森を訪れ、森林科学館と水生植物園をレポートしていただきました。



ハナシヨウブが彩る水絵巻 水生植物園

す。歩道から眺めると、中に渡してある橋道や色とりどりの花が、五線譜と音符を描くという工夫がなされており、まさに迫力満点の水絵巻が満喫できます。

間近で花を楽しむ際には、ハナシヨウブの品種ごとに立ててある名札に、是非気をとめてみてください。ハナシヨウブには江戸系、肥後系、伊勢系、外国系の四つの系統があり、花色は基本六色、花型は基本三型と多種多様にわたり、一つ一つの花の名前を確認しながら見ていくことによって、花への興味や愛情が一層高まるはずです。また、ハナシヨウブ以外にもスイレン、ハス、アジサイ、ツツジなどが私たちを楽しませてくれます。

私が訪れたのは開花にはまだ少し早い時期でしたが、五線譜の橋道にたなずむと、一面にハナシヨウブが咲き誇る情景を思い描くことができました。

頼成の森には、バーベキュー広場や森林浴を満喫できる散歩コースなどがあるほか、ナチュラリスト(自然解説員)による自然教室も

開催されており、見どころや楽しみ方がいっぱいいの森林公園となっています。余暇時間の増加とともに、余暇の充実が求められている今、自然志向のニーズを満たし、心から自然と親しめる憩いの場であることを改めて感じることができました。



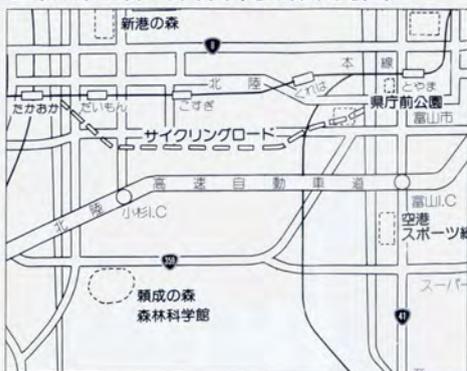
▲ハナシヨウブ園に描かれた五線譜と音符

▲歩道からみるハナシヨウブ園

頼成の森と言えば、ハナシヨウブを中心とする水生植物園。中でもメインのハナシヨウブ園は毎年六月下旬のシヨウブ祭りに多くの人々の目を楽しませてきました。このハナシヨウブ園が、新たに四・四ヘクタール造成され、六ヘクタールの面積となりここに五五〇品種、七〇万株のハナシヨウブが植栽され、全国に誇れる水生植物園に生まれ変わりました。

このハナシヨウブ園のテーマは、「頼成の森ハナシヨウブ水絵巻」。サンクンガーデン(沈床庭園)方式をとっているため、歩道からハナシヨウブ園の全景を見おろすことができます。

■頼成の森、森林科学館案内図



F U R U S A T O
**ふるさと
 みてある記**
 ●平村●
 M I T E A R U K I

■平村の概要 人口 1,663人 (5月1日現在 東人口統計調査より)
 面積 94.06km²
 平家落人伝説で知られており、「こきりこ唄」「麦屋節」と民謡の宝庫。相倉合掌集落、村上家、平村郷土館など見どころが多く、合掌造りの民宿は人気の的。四百年の歴史をもつ五箇山和紙は、和紙工芸研究館などで生産されていて、紙すきも体験できる。



▲郷土会のみなさん

みさらしあかり
 五箇山和紙

◀和紙をテーマにした最近の作品
 ▼物語の一コマ



◀塩硝展示コーナー

変わりゆくふるさとを
 見つめなおして

平村郷土会



▶取材には時間をかける

「観光客や子供たちに村のことを説明できるようにするため、この勉強会ができたんですよ」と語るのは平村郷土会の池田さん。

昭和六十三年にできたこの学習サークルでは、村の風景や生活を題材にした自作のスライド作品の制作に取り組んでいる。メンバーは、民宿業、タクシー運転手、美容師など全員兼業主婦。忙しい合間をぬって活動している。「カメラや映写機の使い方、シナリオづく

りなど、何も知らないところから始めたので大変でした」村史で学んだ成果を物語風のスライド作品に仕上げ、県視聴覚自作教材コンクールに応募したところ佳作に入賞。翌年制作した五箇山豆腐をテーマにした作品「おばあちゃんのとうふ」は全国入選した。

「フィルムに残すことでふるさとの姿を子供たちに伝えていきたいんです」作品は、小中学校の郷土学習教材として使われているほか、村の集会などでも上映され、とても好評だそう。

「深夜まで作業することもしばしばありませんね」そんな活動ぶりを村の人たちも暖かく見守り、協力してくれるという。これからも平村の多くの隠された魅力を発見し、紹介していく郷土会。村民の期待は大きい。

世界でも指折りの
 ジャズギター

ギター工房 辻 四郎さん



▲辻四郎さん

「私の作るギターは世界でも三本の指に入りますよ」と語るのは、ジャズギターを製作している辻四郎さん。

ジャズギターの高級品を作れる職人は日本には辻さんぐらいしかいないそうだ。中学を卒業後、京都へ修業に出て以来三十年以上ギターを作っている。「昔はフォークギターも作ってましたが、今はほとんどジャズギターです」と言うその言葉に時代の流れが感じられる。「一人で全部やっているので頑張っても一ヶ月に三本しかつくれないんですよ」コンマ一ミリ単位で板を研り、真珠貝の飾りを埋め込み、塗装する。細かい作業がとても多いうえ、ヘッドの形状や飾りのデザインも考えなくてはならないので大変だという。

「二十八歳の時に独立して五箇山に帰ってきたんですが、始めた頃は、この土地でギターを作るのは無理だと思ったこともありましてね」湿度が高いせいで、作ったギターがすべて割れたりへこんだりしたという。除湿機をうまく使うことでこの問題を解決し、製作を続けることができたそうです。



▲音のぐあいを確かめる

「いつの日か時間とお金をかけて、皆がびっくりするような最高のギターを作ってみたいですね」ただ、注文が多くてもそんな余裕がないのが辻さんの嬉しい悩みである。

五箇山の歴史と伝統を
 感じてみよう

平村郷土館

国道一五六号線を走り、平村に入ってから十分ほどすると、眼前にきれいな木造建築物が現れる。そこが平村郷土館だ。館長の杉本さんに話を聞いた。

「木の温もりと美しさを感じながら、山村の生活文化をじっくりと見られるんですよ」

館長 杉本隆治さん▶



▲トドのはく製

平成元年に村制百周年を記念してできたこの郷土館には、江戸時代にこの地で盛んだった塩硝作りをはじめ、養蚕などの伝統産業や平村の歴史、文化を伝えるものが数多く展示されており、企画展も開かれている。

「合掌造りの工法を現代風にアレンジしたんです」というこの建物、村内産の立山杉が主に使われ、吹抜けになっている内部は梁がとも美しい。開館は四月から十一月まで。昨年は約一万五千人がここを訪れた。

「日本でも珍しいトドのはく製があるんですよ」姉妹提携先の北海道羽幌町から送られた物だという。海の動物のはく製が山の中にあるのも妙だが、とても人気があるそうだ。

「もっと多くの人たちに、五箇山にきてもらいたいですね」国道をはさんだ向かいの「和紙工芸研究館」や「やま」との対話館とあわせて、山里の歴史文化をじっくりと体験できる。この場所は、ドライブコースには欠かせない。

街から暴走族を追放しよう

夏の訪れとともに、街に暴走族が出没しています。集団で威圧的に走行したり、深夜の街に爆音を轟かせて走り回る暴走族は、一般のドライバーを巻き添えにしたり、住民の安眠を妨げたりするなど、県民のみなさんに大変な危険と迷惑を与えています。

警察では、厳しい取締りを行い、暴走族の不法行為の封じ込めに努めています。

街から完全に暴走族を追放するために、県民のみなさんの一層のご協力をお願いします。

◎暴走族追放「三ない運動」を進めましょう。

「しない」、「させない」、「見ない」が「三ない運動」です。家庭はもちろん、地域や職場でも話題に取り上げ、暴走族追放の気運を盛り上げましょう。

◎暴走族を見かけた時は通報しましょう

路上で暴走行為を行っているのを見かけた時は、すぐに110番通報をお願いします。

また、暴走族のたまり場や不正に改造した車などを見かけた時も、是非警察にご一報ください。



「愛の血液助け合い運動」

7月は「愛の血液助け合い運動」月間です。

献血は、医療に必要なすべての血液製剤を確保するための体制づくりに欠かせないものです。県民の皆さんへ献血に対する意識を高めていただき、成分献血と400ml献血への理解と協力を得るため、全国的にこの運動が展開されます。

成分献血は血液センター、成分採血装置搭載移動献血車、各事業所・市町村役場会議室等で実施するオープン献血で行うことができます。

夏場は特に血液が不足しがちです。あなたのやさしさと、豊かなささえ合いの心をお待ちしています。

月間

北方領土返還 要求運動の 標語募集中!

<応募要項>

- はがき1枚に1句
(消印のあるもの)
- 住所、氏名、性別、年齢、電話番号、職業を明記して下さい。

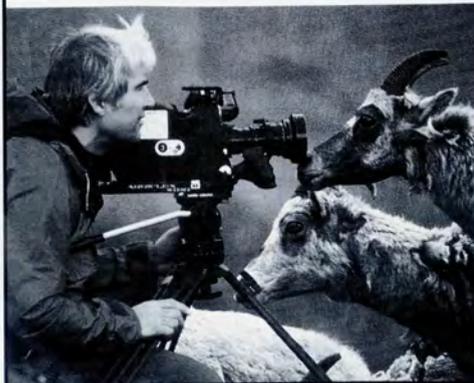
<締切>

- 平成5年12月31日

送り先

〒102 東京都千代田区平河町2の4
の4 第一東栄ビル2階
特殊法人 北方領土問題対策協会
電話 東京 (03) 3263-7691

日時 8月19日(木)~22日(日)
場所 県民公園太閤山ランド
主催 ジャパン ワイルドライフ フェスティバル実行委員会
WWF Japan (財世界自然保護基金日本委員会)
入場は無料ですので、気軽に参加下さい。
詳しいお問合せは、ジャパン ワイルドライフ フェスティバル富山運営事務局
(☎0764・33・1209) まで。



「ジャパン ワイルドライフ フェスティバル'93」

〜こども地球学校〜

自然の驚異や素晴らしさをテーマに、野生動物植物の映像を集めた映画祭やシンポジウム、ワークシヨップを盛り込んだフェスティバルを開催します。

「社会を明るくする運動」月間

第43回



ふれあいと
対話が築く
明るい社会

7月1日から1か月間にわたり、「少年の非行防止と更生援助のため、地域住民の理解と参加を求める」ことを重点目標に「社会を明るくする運動」が全国的に展開されます。

この運動は、すべての人々が犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築こうとするものです。

本県では、一日保護観察職員の実施や街頭宣伝など、地域に根ざした積極的な活動が展開されます。

次代を担う少年たちの健全な育成に、ご支援・ご協力をお願いします。

◎詳細については、
富山市西田地方町2丁目9番16号
「社会を明るくする運動」富山県実施委員会
(☎0764・21・5132) にお問い合わせください。

利賀少年自然の家

「岩魚フェスティバル」開催

秘境利賀の大自然の中で、岩魚のつかみどりやキャンプファイヤー等の野外活動をとおして、家族で心のふれあいを深めてみませんか。



- 1、期日 7月24日(土)～25日(日)
 - 2、場所 富山県利賀少年自然の家
 - 3、定員 150名(小学生とその保護者対象)
 - 4、参加費 小人 2,500円
大人 3,000円
 - 5、申込み 利賀少年自然の家「岩魚フェスティバル」係
- ☎0763・68・2026

「家庭の日」 作品募集

県では毎月第3日曜日を「家庭の日」と定めています。



知事賞
福岡町立福岡小学校5年
居島 秀充君

「家庭の日」のより一層の普及を図るために、健全な家庭づくりや、家族のふれあいなどをテーマとした作品を募集します。

- 作文 ・対象—小学生及び中学生
・400字詰め原稿用紙5枚以内
- 図画 ・対象—小学生
・4ツ切画用紙を使用のこと
- ポスター・対象—小学4～6年生及び中学生
・4ツ切画用紙を使用し、「家庭の日」の文字を入れること
- 提出先 ・各小・中学校、特殊教育諸学校
- 締切 ・9月上旬
- 問い合わせ 県庁婦人青少年課

☎0764・44・3138(直通)
☎0764・31・4111(内線3156)

平成5年度

「ファミリリーキャンプ」

富山県砺波青少年の家では、キャンプと野外活動を通して親子のふれあいと自然環境への理解を深め、明るい家庭づくり、青少年の健全育成を目的に7月31日(土)から1泊2日でファミリリーキャンプのつごいを行います。

対象・小学生とその家族
定員・40名(先着順)
費用・保険料200円
申込み・往復はがきに住所、氏名、年令、学校名を記入の上、
砺波市徳万字赤坂17の5砺波青少年の家まで

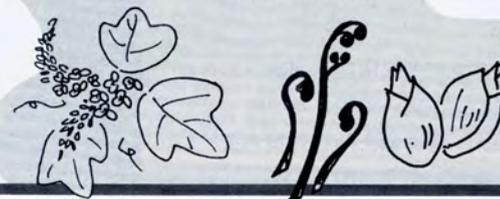


呉羽の味に挑戦 「呉羽の夏の集いの開催について」

呉羽少年自然の家では、7月31日(土)から1泊2日で呉羽の夏の集いを開催します。呉羽山の自然を満喫しながら、親子でみょうがやわらび・葛・お茶等を摘み、自然の幸を利用した野外料理を楽しんでみませんか。

- 申込み方法—はがき又は電話
- 申込み先 富山市西金屋字長尾8194
富山県呉羽少年自然の家
〒930-01 ☎(0764-34-1908)

- 対象—小学生及び中学生とその保護者
- 定員—100名
- 参加費—子供2,000円 保護者2,500円



交通安全 「わたしの提言」 募集について



県では、増加している交通事故を防止するため、あなたの体験に基づく具体的な交通安全に対する意見や提言を募集しています。

①テーマ

交通事故を減らすには、どうすればよいか、家庭や地域では何をすればよいかなど、交通安全について日頃考え、感じていることを、自由にお書きください。

②応募方法

既に、県下全世帯に配布されている交通安全「わたしの提言」募集応募用紙に提言や意見を書いて、封筒形式にして県庁県民生活課まで郵送してください。

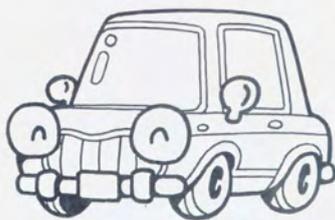
(郵送無料)

なお、応募用紙は、県庁県民生活課にも用意してあります。

③締切

平成5年7月31日(土)(当日消印有効)

※なお優秀作品については、表彰(賞品贈呈)いたします。



- 5月13日 春の叙勲伝達式
- 5月18日 新湊漁港東西連絡道奈呉の浦大橋竣工式
- 5月19日 沿海地方友好提携一周年記念事業(トヤマデイ)
- 5月21日 「平山郁夫展」開会式(～6月23日)



- 5月25日 富山県青年婦人海外派遣解団式
- 5月26日 防災パトロール(～27日)
- 5月26日 消費者月間記念富山県大会
- 5月27日 北陸新幹線建設促進富山県民総決起大会
- 5月28日 知事のまちなまり(氷見市)
- 5月31日 春の薬草に親しむ会
- 6月1日 世界禁煙デー街頭キャンペーン
- 6月1日 砂防コンサート(～2日)



- 6月2日 訪韓団結団社行式



- 6月5日 県展(～11日)



- 6月10日 「映像センター」「学習サロン」開設式
- 日韓地域間交流促進のためのセミナー

受講生募集

情報工房 子どもパソコン教室

夏休みの夢を画面に描いて

- 内容 お絵書きソフトの操作と制作実習
- 開催日 7月28日、29日、30日の3日間
各、午前10時から12時まで
- 定員 小学4年生以上16名(受付順に決定)
- 受講料等 無料
- 問合せ・申込み 富山市高田527
富山県情報工房 ☎(0764)44-7887

平成5年8月街頭献血日程

日	曜	場 所	時 間
1	日	滑川市滑川ショッピングセンター「エール」前	10:00～15:30
2	月	富山市役所前	9:00～16:00
4	水	砺波市役所前	10:00～15:30
7	土	富山市「アビタ」ショッピングセンター前	10:00～16:00
8	日	黒部市「メルシー」ショッピングセンター前	10:00～15:30
14	土	富山西武デパート前	10:00～16:00
15	日	富山西武デパート前	10:00～16:00
17	火	下村役場前	10:00～15:30
21	土	J R 富山駅前	10:00～16:00
24	火	大門町総合会館前	9:00～12:00
		大島町役場前	13:00～16:00
28	土	J R 高岡駅前	10:00～15:30

◎富山県赤十字血液センターでは、毎土曜日の午後も開所し(祝祭日除く)、献血を受け付けています。
富山県赤十字血液センター 富山市飯野26-1 ☎0764(5)5555

警察官B採用共同試験

富山県では、富山県、警視庁、愛知県及び神奈川県警察官Bの募集を行います。

受験資格

昭和41年4月2日から昭和51年4月1日までに生まれた男子(ただし、大学を卒業された方、又は平成6年3月までに卒業見込みの方は除きます。)

試験名	受付期間	試験日・会場
警察官B	7月30日(金)	9月19日(日) 富山中部高校
	8月19日(木)	



問い合わせ

県人事委員会事務局任用課(☎0764(44)2166・2167)
県警察本部警務課(☎0764(41)2211 内線2225)
又は県内各警察署

平成5年度毒物劇物取扱者試験

平成5年度宅地建物取引主任者資格試験の実施

平成5年度毒物劇物取扱者試験を8月24日(火)に、富山市新総曲輪2の21「富山県農協会館」において実施します。
受験願書の受付は、7月19日(月)から7月30日(金)までの間、住所地を所管する保健所で行います。
なお、受験手数料6,700円は、富山県収入証紙により納付して下さい。
試験の詳細については、最寄りの保健所又は県厚生部業務課まで、お問い合わせ下さい。

県厚生部業務課 ☎0764・31・4111(代)
(内線3585)

- 日 時 平成5年10月17日(日) 午後1時～午後3時
- 場 所 受験申込み受付の際指定
- 願書配付 平成5年7月5日～7月30日
- 願書受付 (社)富山県宅地建物取引業協会本部及び高岡支部
平成5年7月26日～7月30日
- 問合せ (社)富山県宅地建物取引業協会
富山市元町2-3-11
☎0764・25・5514

みなさんの相談窓口

表紙 撮影/滝川邦彦(日本写真家協会会員)
表紙 エッセイ/大谷 和子
P1 ヒト/室井 滋
P2 クローズアップ

交通事故については 富山県交通事故相談所東別館1階
☎(0764)31-4111内4400
相談110番 家庭問題・悪質商法・覺せい刑など、どんな相談にも応じます。
☎(0764)42-0110
シルバー110番 高齢者や家族の心配ごと、悩みごとに富山県高齢者総合相談センター
富山市舟橋南町5-14
社会福祉会館内
☎(0764)41-4110

P6 ④知事のまちまわり(氷見市) 特集/いつでもどこでもだれでも 生涯学習
PIN UP TOYAMA
撮影/池端 滋
P14 とやま遊学感/県民公園頼成の森 ふるさとみてある記/平村 県からのお知らせ
P18 東アジア(黄海・日本海)をめぐる富山県友好の船93が、中国・韓国・ロシアを訪問した後、五月二十一日に無事帰県しました。



県政については
県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)
☎(0764)31-4111代
31-3131(県民相談電話)
高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)
☎(0766)21-9411代
魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)
☎(0765)24-5311代
砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)
☎(0763)33-5151代
消費生活については
消費生活センター
富山市安住町7-18
安住町第一生命ビル内
(一般相談は)
☎(0764)32-9233
(金融相談は)
☎(0764)33-3252
消費生活センター高岡支所
高岡市本丸町7-1
本丸会館内
☎(0766)25-2777
物価ダイヤル
物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。
☎(0120)16-7400(県庁県民生活課内)

県からのホットニュース 見て、聞いて、ご意見をお寄せください。

TV RADIO NEWS PAPER

テレビ広報
●チューリップテレビ 毎週土曜日AM9:30~9:45 「志の輔のふるさとトーク」
●富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00~9:30 「112万人のひろば-クイズ/フォーカス-イン」
●北日本放送 毎週日曜日AM11:00~11:30 「こんにちは富山県です」
7/4 まちのかお大集合
7/11 ごみのないまちづくり
7/18 広がる韓国との交流の輪
7/25 私たちのふるさとづくり◎

ラジオ広報
●FMとやま 「ふれあいホットライン」
県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとどけます。
毎週月~金曜日 AM9:50~9:55

新聞広報 NEWS PAPER
●北日本、富山、読売、北陸中日、朝日、毎日
毎月第2、最終土曜日
「県からのお知らせ」

魚の天気図⑬

今話題の魚

ウミタナゴのお産 安産と逆子と

二、三回軽くあたる、...とグーッと引きこむ、釣られたショックで腹から子どもを産みおとしながらあがってくる...ウミタナゴだ。今、七月。二十cm足らずの親の腹に、四cmぐらいの子どもが二十四以上もいる。私の調査で、一腹に最少は十一匹、最多は七十八匹、日本記録は八十六匹とある。胎子は「親魚と同じ向き」とされるが、やや雑然と、ぎっしり入っていて、お産も頭から先に出るものもいれば尾から出るものもある。

嫌って、山陰では妊婦に食べさせないという。ウミタナゴは、全国沿岸どこでも釣れ、岩場や堤防の捨石辺がよい釣り場である。浮木釣りが面白い。イソメ・ゴカイ(すこし釣先よりたらず)やモエビ・オキアミ(尻がけにする)を餌にする。ウミタナゴは集団でいるから、一匹釣れたらそこで十数匹は釣れる筈。年中釣れるが、数釣りは七月、大物は十月は私のメモ。

釣った親魚十二匹では、前向きの子が百五十二匹、後向きが六十四匹であった。ウミタナゴの卵巣は退化していて、卵は輸卵管の壁にできる。ここが卵巣と子宮の両方の働きをする。十月頃に交尾するが、この頃は卵が未熟なので、精子はメスの体内で休眠し、受精は卵の熟する一月頃になる。

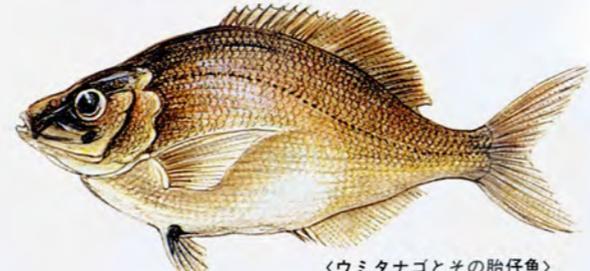
釣る期・所によって、いろいろな色のウミタナゴが釣れる。ウミタナゴ科は、二属三種に分類される。三種のうちウミタナゴとしては、
○背青褐色・腹銀色...マタナゴ
○背赤褐色・腹銀色...アカタナゴの二型後の二種は、
○背青黄色・腹銀色...アオタナゴ
○背黄褐色・腹淡色...オキタナゴ
富山湾にはオキタナゴ、アオタナゴは少なく、大半はウミタナゴである。その身肉は、や、やわらかいが、煮付けにするとうまい。

お産は六・七月だから、半年間も母体内にいたため大きく育ち、四、五cmにもなる。そのこともはその年の冬にもう一人前のおとなになって、卵が産まはじめる。ウミタナゴは早熟な卵胎生魚なのである。多産・安産ということで、東北地方ではとくに妊婦に食べさせるが、一方、逆子を

割には魚屋であまり扱わないせい、一般にはなじみのうすい魚ではある。



<アオタナゴ>



<ウミタナゴとその胎仔魚>



<オキタナゴ>



とやま花と緑の 写真コンテスト

作品募集

「花と緑」をテーマにした作品

■規 格

一枚写真の場合 キャビネサイズ以上。
組写真の場合 各キャビネサイズ以上。

■応募資格

誰でも応募できます。

■応募点数

未発表のもので、一人3点以内。

■応募締切

平成5年9月10日金 当日消印有効。

■応募先

○〒939-27 婦負郡婦中町上轡田42

(財)花と緑の銀行

「花と緑の写真コンテスト」係

☎0764・66・2425

○花と緑の銀行支店（各市町村花と緑の担当課）

○富山県カメラ商組合加盟店



富山県内に咲く花(自生、植栽)、自然の緑、
緑化木(街路樹、町並み、庭木)や花と緑との
ふれあい風景など花や緑を取り入れた作品
をどしどしご応募下さい。